

平成30年度第3回長浜市地域公共交通会議 会議録	
日 時	平成31年2月22日（金）15:00～16:10
場 所	長浜市役所本庁舎3階 3-Bコミュニティルーム
出席者	出席：石井会長、道久委員、芝委員、國友委員、吉川委員、早崎委員、佐々木委員、高山委員、野村委員、濱田委員、北村雅利委員、木下委員、北川委員、小山委員、脇坂委員、赤井委員、岸田委員、土田委員（以上18人） 欠席：大塚委員、北詰委員、前川委員、北村マサエ委員、立川委員（以上5人） 傍聴者：5名 事務局：山田都市建設部長 都市計画課 嶋田課長、森室長、河瀬主幹、佃主事
■会議録 1 開会 会議成立の報告 2 あいさつ 石井会長（内容省略） 3 審議事項 （1）平成31年度長浜市生活交通改善事業計画について 【事務局】 ・資料に基づき説明（内容省略） 【会長】 ・ご意見、ご質問があればお願いします。 【会長】 ・この計画が進められると、長浜市のノンステップバスは全部で何台になるか。 【事務局】 ・全23台のうち、ノンステップバスが16台、リフト付きバスが3台となります。 【委員】 ・まだノンステップバスが導入されていない路線はあるか。 【事務局】 ・金居原線がワンステップ車両1台で運行しています。また、深坂線がワンステップ車両1台で運行していますが、間もなくノンステップバスに更新となります。 【委員】 ・このノンステップバスの定員数と、導入までの流れや複数者から見積りをとられて選定されているのかお聞きしたい。また、次年度に導入を計画されている路線の利用状況から、さらに小型の低価なバスを入れることはできないのか、どうしてもこのタイプの車両でなければならないのかお聞きしたい。 【事務局】 ・定員は29人。車両の購入は湖国バス(株)で準備を進めていただき、購入経費を長浜市が補助する流れとなっており、車両所有者も湖国バス(株)となります。また、現在のところ当該	

規格の車両は日野自動車で製造される「ポンチョ」と呼ばれる車両のみで、県内で日野自動車販売店は１社であるため、複数者で価格競争していただくことになっておりません。車内設備等も含め、やはり路線バスタイプとして走行することから、市と湖国バス(株)で協議し、当該車両が望ましいと考えております。導入を計画する路線の利用状況ですが、通学利用があるため、常時ではありませんが、２０人ほど乗車される時間帯もあり、この点からも当該車両が望ましいと考えます。

【委員】

- ・導入費用が全額長浜市負担となっているが、県からも補助してもらうことはできないのか。

【委員】

- ・県にも補助制度はあるが、１０年ほど前から財政上の理由により、補助制度が凍結状態となっている。予算確保への努力は続けさせていただきたい。

【会長】

- ・たいへん貴重なご意見だと思う。それぞれの立場でしていただける努力をお願いしたい。
- ・他にないので、審議事項１は、原案どおりこれを承認することに異議はないか。
～異議なし～

【会長】

- ・異議なしと認め、本件は協議が調ったものとする。

(２) バスのダイヤ改正等について

【事務局】

- ・資料に基づき説明（内容省略）

【会長】

- ・ご意見、ご質問があればお願いします。

【会長】

- ・特にご意見、ご質問がないようだが、審議事項２は、原案どおりこれを承認することに異議はないか。
～異議なし～

【会長】

- ・異議なしと認め、本件は協議が調ったものとする。
- ・以上をもって審議事項を終了とする。

４ 報告事項

(１) デマンドタクシーの運行状況・利用状況について

【事務局】

- ・資料に基づき説明（内容省略）

【会長】

- ・ご意見、ご質問があればお願いします。

【会長】

- ・アンケートは満足度や意見だけの確認だけか。利用目的の回答はどうであったか。

【事務局】

- ・無記名アンケートで、利用目的や主な利用時間・区間などの利用状況と合わせて、満足度や意見を記入いただく形式でさせていただきました。会議資料には主な内容を抜粋させていただきました。サンプル数が少ないですが、利用目的としては、通院・買物のほかこの時期の特徴となりますが、他市にお住いの方が野鳥センターに行く目的で利用された方の

回答も含まれていました。

【委員】

- ・ 湖北・高月の利用者数について、バス運行時の利用者数と比較するとどのような変化があるかお尋ねしたい。もう1点は、今後の交通サービス展開の考え方として、MaaS(マース、モビリティ・アズ・ア・サービス)と言われる1つのスマホアプリや1つのチケットで多種の交通サービスが利用できるという統合型にしていこうという社会的な風潮がある。その点では長浜市のデマンドタクシーは、現在路線ごとに登録していただくこととなっているが、その垣根は必要ないと思うが、事務局ではどうお考えか。

【事務局】

- ・ デマンドタクシーに変わって利用者数に変化があったかについて、まず湖北については、前年度比で86%となっており、観光利用者の分が少し影響しているのかと推察しております。高月についてはほとんど変化がない状況となっており、従来の利用者とあわせて新規の利用者にもご利用いただいていると考えております。
次に、今後のサービス展開として、登録制度の見直しについて、例えば他市のように登録の必要なしにすることまでは、利用者数の激増による財政負担増や事業者受入体制の限界など厳しいかと思っておりますが、1つの申請でどの地区のデマンドタクシーでも利用できるようにするという事は、検討させていただきたいと考えます。

【会長】

- ・ 良いご提案だったと思うが、デメリットは何かあるのか。

【事務局】

- ・ 利用者の個人情報を市から各運行事業者へ提供するため、利用されるかわからない方の個人情報提供の意味や、情報の取り扱いに関する整理が必要かと考えます。

【委員】

- ・ 利用者視点から言えば、どなたでもどの地区のデマンドタクシーでも乗れるというのが、公共交通としてのあるべき姿と思う。運用面の課題等もあろうかと思うが、ご検討をお願いしたい。

【事務局】

- ・ 今年度から区域外の停留所設置ということにも取り組み、他地区への移動も目的によってはできるようになりました。これについての利用動向も含めて、研究していきたいと考えます。

【委員】

- ・ 区域外停留所も一部だけで、基本的には地区外へは乗り換えなければならないし、登録も別々で料金も新たに支払わなければならない。もっと利用しやすいものに考えてもらいたい。そのための基本料金の値上げなら理解してもらえと思う。

【会長】

- ・ 旧町の区域の概念が残っている。合併から10年が経過し、オール長浜で考えるべきという意味では、登録申請の一元化は事務局にとっても楽になる面があるはず。個人情報の取り扱いに関しては、運行事業者は情報を守る義務があり、運用面の課題など前向きに検討を進めていただきたい。

【委員】

- ・JRやバスの利用者への影響もあるので、一体化については十分に検討しなければいけないと思う。

(2) 長浜市地域公共交通網形成計画の実施計画進捗状況について

【事務局】

- ・資料に基づき説明（内容省略）

【会長】

- ・ご意見、ご質問があればお願いします。

【委員】

- ・エコ通勤優良事業所の登録については、現在のところ、県内で約50の事業所に登録いただいています。行政機関が多く民間事業者の登録が進んでいないという現状から、是非とも地域の事業所へ登録を推奨いただくことについて、ご協力をお願いしたい。
モビリティ・マネジメントについても、県では積極的に進めていきたいと考えており、今のところ県内8市町での実績がある。是非長浜市でも複数校で実施できればと考えているので、よろしくをお願いしたい。

【委員】

- ・出前講座については私の住む自治会でもしていただきたいと思うが、これはどのような手続きが必要か。

【事務局】

- ・申請用紙がありますので、まずはお電話をいただけましたら、申請用紙を送付するなど対応します。

【会長】

- ・西浅井地域の交通再編については、何度か説明会もされてきていますが、地域の方々のご意見はどうであったか。

【事務局】

- ・批判的なご意見はなく、おおむね地域の皆様にもご理解がいただけたかと考えています。

【会長】

- ・他にないようなので報告事項は以上とする。

5 その他

【会長】

- ・その他、各委員から連絡事項はあるか。

【委員】

- ・バス車両だけでなく、タクシー車両のバリアフリー化というのも課題の1つと考えている。
超高齢社会で移動困難者が車いすでもタクシーに乗れる、また、2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据えた体制整備としても喫緊の課題である。購入に対して国から60万円ほどの補助金を受けられるが、県や市町の補助も受けることが国からの補助が受けられる条件となっている。県内全体で検討していただくことをお願いしたい。

【委員】

- ・ 滋賀県においてももう少し先を見ると、国体・しょうがい者スポーツ大会などで全国から多くの方が来られ、会場も県内各地で設けられることを考えると、購入支援の制度化というのは重要な検討課題と思う。

【会長】

- ・ 貴重なご意見であり、是非、滋賀県でも制度化に向けての検討が進むよう期待したい。

6 閉会あいさつ

山田部長（内容省略）

（終了）